

# 食の「やさしさ」と 「安心」を守る



## ケアフード（介護食）テスター CF-200N

かんたん  
測定

データ転送  
OK

コンパクト  
設計

かんたん  
洗浄

高齢化社会が進み、ケアフード（介護食品）の需要は更に高まっています。忙しい現場でも簡単に食べ物の硬さを測定できるケアフードテスター CF-200N。

ユニバーサルデザインフード(UDF)やスマイルケア食区分や、医療現場で使用される日本摂食嚥下リハビリテーション嚥下調整食分類2021（学会分類2021）がすぐに判定できます。

詳しくは裏面をご参照ください。

測定結果はデータでPCに転送※することも可能です。※データ転送はオプションです。

ケアフードテスターは食べる人、作る人、見守る人、みんなに安心を提供します。



「ケアフードテスターCF-200N」はオンラインショップでご購入頂けます。  
オンラインショップをご覧ください。（発送は日本国内に限ります。）

オンラインショップ <https://www.foodtester.jp>



# 簡単に食べ物の硬さを測定できるケアフードテスター CF-200N

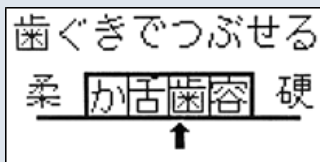
## ケアフード（介護食）の判定区分

UDF

ユニバーサルデザイン  
フード(UDF)やスマイル

ケア食は食べやすさに配慮したケアフード(介護食)です。かたさや粘度※に応じて「容易にかめる」「歯ぐきでつぶせる」「舌でつぶせる」「かまなくてよい」の4段階に区分されています。CF-200N ケアフードテスターは食品をセットし、スタートボタンを押すだけで、4段階のどの区分に当たるかを分かりやすい文言で表示できます。

※ゾル(液状)測定の場合、別途粘度計が必要な場合がございます。



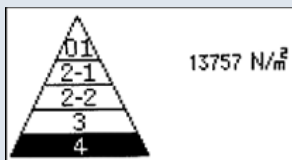
JSDR

日本摂食嚥下リハビリテ  
ーション学会分類(JSDR)

では、コード0&1, 2-1, 2-2, 3, 4の5種にそれぞれ該当する  
か判定することができます。

この分類は日本リハビリテーション学会嚥下調整食分  
類2021(食事)に基づいています。

※本機器では『嚥下調整食学会分類に基づく嚥下調整食レシピ123(編集 相下淳  
江頭文江)』に記載されている物性測定値のかたさを参考にしています。



### 試験の条件

- 試験速度\*:10mm/sec・圧縮深さ:10mm
  - 試料高さ:15mm・プランジャ:直径20mmの円筒型
- 5回連続モード(UDF規格のみ)で測定すると、一番大きい数値と小さい数値を除いた3回の平均で4段階のどの区分当たるか判定できます。

\*JSDRでは1mm/secと10mm/secが選択できます。

## かんたん3ステップ測定

### STEP ①

測定物をセッティング  
します。



### STEP ②

電源を入れてスタート  
ボタンを押すと、試験  
が開始されます。



### STEP ③

判定結果が「かまな  
くてよい」などの文言  
で表示されます。  
これで測定完了!



Wash<sup>o</sup> 洗浄

容器や圧縮部分は簡単に  
取り外せ、丸洗いです。  
お手入れも簡単!



Option  
オプション

データを転送してレポート作成に活用

判定結果はオプションのUSBケーブル通信で専  
用ソフトに転送でき、データ管理ができます。データ  
はCSVで出力できますので、表計算ソフトを活用して  
レポートなどを作成していただけます。



試験日時	試験番号	試験品名	試験結果	試験結果
2022/12/08 10:14:13	00009	No.10	4.3	3.3700E+3 N/mf
2022/12/08 10:14:21	00010	No.10	4.3	3.5600E+3 N/mf
2022/12/08 10:14:29	00011	No.10	4.4	3.2400E+3 N/mf
2022/12/08 10:14:36	00012	No.10	1.9	5.5400E+4 N/mf
2022/12/08 10:15:01	00013	No.10	1.9	5.6650E+4 N/mf

詳しくは日本計測システム株式会社にお問い合わせください。

JISC 日本計測システム株式会社 e-mail : sales@jisc-jp.com



250900200 rev.4